
サイレント

マコリオット

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

サイレント

【Nコード】

N6486E

【作者名】

マコリオット

【あらすじ】

だから言っただけだ死は後悔を捨てきつてからする行動半端な奴が死ぬなんてほざきな生きろ

音が聴こえない

無音でさ、何も聴こえないんだ

昨日からなんだ、音が聴こえないのは

だから外に出たんだ

とにかく不安だったから

病院に行きたかったってのもあった

けど、昨日死のうとした人間が病院に行くなんて

死を冒瀆してる気がしてならない

外に出てみた

光が眩しかったんだ

昨日は曇りだったから

晴れてる今日は、一段と輝いてるように見えた

眩しくて、眩しくて

こんな感情も生きてる証なのかなあって

けどさ、不思議なんだ

僕が見る人見る人皆が、無表情なんだ

あの威勢がいい赤ちゃんも

公園で遊んでる子供達も病院についてさ

やっとわかったんだ

これは僕の中の風景

僕が想像してる世界なんだって

だから、近くにいた人の首絞めてやった

絞めてる途中、涙がでてきてさ、すげー苦しかった

気付かないうちに時間も経ってさ、いつの間にかみんな絞め殺してた

僕が知ってる限りの人全員

だから、この僕の世界にいる全員を殺したって事なんだ

もう残ってるのは僕だけ

だから僕は僕を絞めた

もし僕が生きてたら

もっと生きていたかったのかもしれない

後悔しても遅いんだ

重々しい空気の中

僕は死んだ

気が付くと

家の中だった

音が聴こえない

病院に行くか

行った後は何をしようかな

ゲーム？それとも溜まってるアニメでも見るか・・・

なんか妙にみんな静かだな

とりあえず病院に行こう

【サイレント - 完 -】

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6486e/>

サイレント

2010年12月31日02時17分発行